

厚生文教常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務調査として、会議規則第 75 条の規定により閉会中の継続調査として申し出した次の調査事件について、調査の経過及び結果を会議規則第 77 条の規定により報告する

令和 3 年 6 月 14 日

上富良野町議会議長 村 上 和 子 様

厚生文教常任委員会
委員長 中澤 良 隆

記

調査事件名 1 図書館の運営について
2 がん予防と罹患者対策について

調査の経過

本委員会は、令和元年第 4 回定例会において閉会中の継続調査事件名を「図書館の運営について」と「がん予防と罹患者対策について」に決定し、別紙 2 「厚生文教常任委員会における審議の経過」のとおり令和元年度 6 回、令和 2 年度 11 回、令和 3 年度 4 回、計 21 回にわたり委員会を開催し調査を行った。

従来であれば、調査事件に対し先進地調査を実施し、先進事例を参考に充実した調査を行うべきであるが、コロナ禍において調査実施が困難な状況にあったため、行政担当所管から現状や課題等の説明を受けるとともに委員相互の意見交換等を中心に調査を行った。

その結果を次のとおり報告する。

1 図書館の運営について

(1) 図書館の現状と他市町村図書館との比較について(別紙 1 図書館の統計資料参照)

ア、図書館施設の変遷

現在の上富良野町図書館は、昭和 46 年 11 月に開館した現福祉センター(公民館) 2 階図書室 330 m² (現在の第 1 研修室) で図書室活動が始められた。その後、昭和 59 年 3 月図書室と隣室の郷土資料室を一体化し、図書室(165.58 m²) として拡張整備が行われた。

その後、平成 17 年 10 月 1 日には更なる利便性と効率性の向上を目的に、図書室を公民館 1 階に移動し、図書室(165.58 m²) を図書館(317 m²) 機能に変更を図るとともに、愛称を「ふれんど」 と名付け、今日に至っている。

イ、図書館の運営状況(平成 30 年度)

- ・開館日数 ···· 298 日開館
- ・開館時間 ···· 午前 9 時 30 分から午後 6 時まで
- ・休館日 ···· 月曜日、国民の祝日

- ・貸し出し・・・・書籍 10 冊まで 2 週間。ビデオ・DVD 3 本まで 2 泊 3 日

※運営状況は他市町村図書館と、ほぼ同様の運営が行われている。ただし、開館時間においては、上富良野町は午前 9 時 30 分から午後 6 時となっているが、富良野市、美瑛町、中富良野町は週に 1 回閉館時間を延長しサービス向上を図っている。

ウ、蔵書数の内訳(平成 30 年度)

- ・冊 数・・・・・・・ 49,248 冊(内訳:一般書 30,718 冊、児童書 18,530 冊)
- ・視聴覚・・・・・・・ 382 本(内訳:DVD93 本、ビデオ 240 本、CD53 本)
- ・富良野地区視聴覚・・ 2,162 本

※町民 1 人当たりの蔵書数は、上富良野町は 4.6 冊で最低となっている。一方、児童用図書の割合は上富良野町が 37.6% で最高となっている。

エ、閲覧貸出状況(平成 30 年度)

- ・閲覧者数・・・・・・・ 19,299 人(1 日平均閲覧者数 64.8 人)
- ・1 日平均貸出冊数・・ 192.5 冊(人口 1 人当たり貸出冊数 5.4 冊)

※閲覧者を人口で比較すると美瑛町の 3 分の 1 程度で、利用者が少ない傾向にある。

オ、登録者(平成 30 年度末)

- ・登録者数・・・・・・・ 6,432 人

※登録者数はほぼ平均にあるが、東神楽町は人口の約 9 割以上が登録されている。

カ、その他の図書館事業

- ・移動図書活動・・・・学校の朝読書などでの活用を目的に、各小学校、東・西児童館、ケアハウス、放課後クラブへ図書を配置し読書普及に努めている。
- ・読書スタンプ事業・・ 絵本、児童書 1 冊につきスタンプを押印。対象は幼児から高校生までで 100 個で文房具、200 個で 500 円の図書カードをプレゼントし、読書の普及を推進している。
- ・すくすく絵本事業・・ 7 か月乳児相談時に申込書を配布し、2,000 円以内の絵本をプレゼントしている。
- ・読み聞かせ会・・・・毎月 1 回、幼児を対象に職員が読み聞かせとパネルシアター・カップシアターを実施している。

キ、学校図書館支援業務

平成 31 年 4 月から各小・中学校の学校図書館へ図書館スタッフを派遣し、学校図書館業務を支援している。上富良野中学校と上富良野小学校は週 1 回。西小学校と東中学校には隔週で支援を行っている。

主な業務は、図書の登録業務、図書の発注業務、学校図書館の装飾業務、図書の修繕や整理を行っている。

ク、職員の配置状況(令和 2 年度)

- ・図書司書補 1 名(町職員)。兼任職員 2 名、会計年度任用職員 4 名。

※職員配置については、専任職員が 1 名で、図書館司書補が配置されているが、図書館司書の有資格者は配置されていない。

ケ、主な読書普及活動

- ・毎年10月の第1週に「図書館まつり」を実施。また各種団体の協力を得て年150回ほど認定子ども園や学校、子どもセンターなどで読み聞かせ会を実施している。

(2) 課題と問題点

現在の図書館施設は、昭和46年福祉センターとして新築されたもので本年の11月には満50年を迎える。また当初の施設目的からも大きく変化し、老朽化や狭隘化から図書館機能としては不十分な状況にあると言わざるを得ない。

施設の狭隘化等の理由により所有する蔵書数は、近隣市町村の図書館との比較においても最低限の水準にあり、また蔵書の構成においても児童書に偏重し、一般書や専門書が少ない課題を抱えている。一方、学校図書館支援事業を図書館職員が支援し、大きな効果を発揮していることについては評価するものであるが、本来は学校図書館自体の独立と職員配置が望ましいと考えることから学校図書館への専門教職員の配置と運営充実が強く望まれるところである。利用実態の面では、人口の約2倍の19,299人という年間閲覧者数となっているが、美瑛町の図書館は、人口の約5倍にあたる51,743人の閲覧者数となっており利用者数は美瑛町に比べ圧倒的に少ない。

次に、職員の配置状況であるが、令和2年度末までは正職員の図書司書補が1名、兼任職員2名、会計年度任用職員4名が配置されていたが、令和3年4月からは、図書館司書及び図書館司書補の有資格者が未配置となった。さらに図書館長は社会教育総合センターに常駐する教育振興課長が兼務している状況にある。

図書館運営の中心となる専任の館長と図書司書等の有資格者の配置については早急に解決しなければならない課題と考える。

(3) まとめ

上富良野町図書館「ふれんど」の運営は、施設の老朽化や狭隘化の課題を抱えながらも限られた施設環境の中、創意工夫のもと図書館サービスの向上に積極的に取り組んでいることについては高く評価するものである。

しかしながら、施設面について大きな課題がある中で1日平均64.8人の利用者がいるという事実は、多くの町民が図書館施設の充実を求めていくと想定することから、早急に図書館の将来整備計画をたて町民の期待に応えることを強く望むものである。

また、図書館のサービス面では、移動図書活動・読書スタンプ事業・すぐすぐ絵本事業などに取り組むとともに、図書館まつりなどを開催し、充実したサービスにより読書ばなれ対策を講じていることは高く評価するものである。

一方、図書館の評価は、かつては貸出数や閲覧者数が主体であったが、今日は町民の居場所づくりや情報発信が求められていていることを考慮し、癒しの空間確保を図りながら更なる情報発信などサービスの向上と充実を目指されたい。

先の課題と問題点に示したが、図書館経営は職員体制の充実が必須要件と考えることから、専任図書館長の配置と、特に図書館司書等の有資格者を配置することは、更なる貸出し、レンタル・サービス、予約サービスなどの基本機能のほか、その他の図書館活動の向上にも大きく貢献するものと考えることから、専門職員の配置を積極的に進め本町の図書館活動の進展を図ることを期待する。

以上、「図書館の運営について」の報告とする。

図書館の統計資料（H30年度）

【別紙1】

	上富良野町	富良野市	美瑛町	中富良野町	東神楽町
人口（H31. 1. 1）	10,789	21,971	10,043	5,019	10,321
図書館床面積	317.0	1,782.1	1,098.9	516.2	1,990
蔵書数（H31. 3. 31） (うち児童用)	49,248 18,530	131,758 37,417	67,442 23,124	33,216 11,379	84,213 30,362
1人当たり蔵書冊数	4.6	6.0	6.7	6.6	8.2
貸出冊数（個人） 1人当たり貸出冊数（個人）	50,410 4.7	146,587 6.7	86,848 8.6	15,449 3.1	42,189 4.1
図書費	2,553	5,705	5,362	2,171	3,427
開館日数	298	287	291	288	293
閲覧者数	19,299	92,990	51,743	12,453	11,870
登録者数	6,432	14,505	5,982	2,016	9,426
開館日	火曜日～日曜日	火曜日～日曜日	火曜日～日曜日	火曜日～日曜日	火曜日～日曜日
閉館日	月、祝日、年末年始 図書整理日	月、祝日、年末年始 図書整理日	月、祝日、月末 図書整理日	月、祝日（月曜日が祝日 の場合は翌火曜日も）	月、図書整理期間、年末 年始、第4金曜日
図書館の利用について 開館時間	火・木・金 9時30分～18時 水・土・日 10時～19時 9時～17時	火・木・金・土・日 9時～18時 水 9時～19時	火・木・金・土・日 9時～18時 水 9時～20時45分	火・木・金・土・日 9時～18時 水 9時～20時45分	10時～18時 2週間
図書	10冊 2週間	10冊 2週間	制限なし 2週間	10冊 2週間	図書10冊、紙芝居5冊、CD5点 2週間
DVD	2点 3日間	1点 3日間	2点 1週間	1点 3日間※1	館内視聴のみ
職員体制	専任職員1人（うち司書補1） 兼任職員2人 会任職員4人（うち司書0人）	専任職員3（うち司書1） 兼任職員0人 会任職員4人（うち司書2人）	専任職員2人（うち司書0） 兼任職員0人 会任職員6人（うち司書3人）	専任職員0人 兼任職員2（うち司書0人） 会任職員4人（うち司書2人）	専任職員1人（うち司書0） 兼任職員0人 会任職員3人（うち司書1人）

2 がん予防と罹患者対策について

(1) がん予防について

わが国においてがんは昭和 56 年より死因の第 1 位であり、生涯のうちに約 2 人に 1 人が罹患すると推計され、がんは国民の生命と健康にとって重大な問題である。このことを受け平成 18 年にがん対策の一層の充実を図るため、がん対策基本法が成立し、平成 19 年から施行された。同年、がん対策の総合的かつ計画的な推進を図るため第 1 期の「がん対策推進基本計画」を策定した。また、平成 24 年度からの第 2 期計画においては小児がん、がん教育、及び就労支援などの社会的な問題にも積極的に取り組んできている。その後、平成 29 年度から平成 34 年度までの計画では、がん患者を含めた国民ががんを知り、がんの克服を目指すことを目標とし、取り組みを進めてきている。

上富良野町では国のがん対策基本法に基づき作成した「がん対策推進基本計画」を受け様々ながん対策を進めてきている。また、国では平成 12 年度「健康日本 21」運動に取り組み、壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸、生活の質の向上を目的とした「一次予防」に重点がおかれたことを受け、平成 15 年には健康増進計画「健康かみふらの 21」を策定し、特に生活習慣病予防に視点をおいた取り組みやがん対策を推進し、平成 25 年には「健康かみふらの 21 (第 2 次)」を策定し、その中でがんの早期発見、重症化予防、発症予防に取り組んできている。

ア、上富良野町におけるがん検診の現状と取り組み

国の「がん予防の重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に定められている検診により早期発見、早期治療により死亡率の低下が証明されている胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・子宮がんの 5 つのがん検診を町では実施してきている。

また、「健康かみふらの 21 計画 (第 2 次)」では毎年 5 つのがんの目標検診受診率を設定し、無料クーポン券の配布や広報・健診・保健指導などあらゆる場を利用した啓発を行ってきている。さらには、個人別のがん検診経年表などを活用した学習を通して受診率の向上に努めている。しかし、がん検診を受けた人の多くが町のがん検診ではなく職域で受診をしており、国民に受診機会を提供する上では職域での検診が重要な役割を担っているが、町民全体の受診状況についての正確な把握は困難な状況になっている。

イ、がんによる死亡率とがん検診受診率の推移

高齢化の影響を除いたがんの死亡率をがん対策推進の目指すべき指標としており、75 歳未満の年齢調整死亡率(人口構成を基準人口と同様にした時の人口 10 万人あたりの死亡者数)は下記表 1 のとおりで、平成 21~23 年次と平成 24~26 年次を比較すると 102.6 から 62.5 に大幅に減少している。

表 1 がんによる 75 歳未満の年齢調整死亡率

	75歳未満 年齢調整死亡率 (人口 10 万人あたり)	上富良野町		全国	
		21~23 年次	24~26 年次	22 年度	27 年度
合計		102.6	62.5	84.3	78.0
男		113.5	98.1	109.1	99.0
女		97.3	32.0	61.8	58.8

ウ、がん検診受診率の推移

がん検診受診率は下記表2のとおりである。5つのがんの中で最も受診率の高い肺がんの受診率は低下傾向にある。また、国の受診率目標値は5つのがんすべて50%以上となっているが、どれも目標受診率には至っていない。

表2 がん検診受診率の推移

	28年度	28年度 目標値	上富良野町 29年度	北海道 29年度	全国 29年度	令和4年度 目標値	国の 目標値
胃がん	20.6%	16.9%	20.2%	7.6%	8.4%	21.2%	50%
大腸がん	15.3%	20.1%	14.4%	5.9%	8.4%	15.9%	
肺がん	30.0%	65.7%	29.4%	4.6%	7.4%	30.6%	
乳がん	33.4%	31.6%	30.0%	15.4%	17.4%	34.0%	
子宮頸部がん	23.3%	23.8%	19.9%	15.8%	16.3%	23.9%	

エ、たばこ対策及び生活習慣について

喫煙は肺がんをはじめとする種々のがんリスク因子である。町の喫煙率は下記表3のとおりである。平成28年度では男性29.1%女性9.0%で、平成25年度の男性30.9%女性9.8%と比較すると減少しているが、全国の喫煙率は男性24.9%女性6.1%であり、上富良野町は全国喫煙率より高い水準にある。対策としては75歳未満の喫煙者を対象にスパイロメトリー（呼吸機能検査）の実施や禁煙指導、禁煙外来の紹介などを行っている。

表3 特定検診受診者の年代別喫煙率の推移（平成25年度と平成28年度比較）

年代別	男性	上富良野町		北海道		全国	
		25年度	28年度	28年度	28年度	25年度	28年度
40~74歳 計	40~74歳 計	30.9%	29.1%	26.7%	24.9%	9.8%	9.0%
40~44歳	40~44歳	42.9%	51.9%	42.3%	40.3%	22.9%	29.1%
45~49歳	45~49歳	51.9%	47.8%	41.7%	38.3%	10.0%	21.6%
50~54歳	50~54歳	45.5%	33.3%	39.7%	36.0%	23.9%	17.6%
55~59歳	55~59歳	32.0%	32.6%	35.9%	33.4%	19.3%	15.7%
60~64歳	60~64歳	38.5%	47.2%	46.8%	44.2%	11.3%	9.1%
65~69歳	65~69歳	26.4%	26.9%	24.5%	22.7%	6.0%	8.0%
70~74歳	70~74歳	20.4%	20.7%	17.4%	17.1%	4.8%	3.3%

年代別	女性	上富良野町		北海道		全国	
		25年度	28年度	28年度	28年度	25年度	28年度
40~74歳 計	40~74歳 計	9.8%	9.0%	9.7%	6.1%	9.8%	9.0%
40~44歳	40~44歳	22.9%	29.1%	23.0%	16.6%	22.9%	29.1%
45~49歳	45~49歳	10.0%	21.6%	22.6%	15.7%	10.0%	21.6%
50~54歳	50~54歳	23.9%	17.6%	20.1%	13.5%	23.9%	17.6%
55~59歳	55~59歳	19.3%	15.7%	16.1%	10.5%	19.3%	15.7%
60~64歳	60~64歳	11.3%	9.1%	11.4%	6.4%	11.3%	9.1%
65~69歳	65~69歳	6.0%	8.0%	7.7%	4.6%	6.0%	8.0%
70~74歳	70~74歳	4.8%	3.3%	4.6%	3.1%	4.8%	3.3%

生活習慣について、飲酒は肝臓がん、食塩の過剰摂取は特に胃がん、脂肪分の多い食事は大腸がんそれぞれのリスクを高めると言われている。また、肝炎ウイルスは肝臓がん、ヘリコバクターピロリ菌は胃がん、ヒトパピローマウイルスは子宮頸部がんに関連する。

オ、がん教育について

上富良野町では児童生徒に対する教育として富良野保健所による「がんの健康教育」を平成28年に開催した。平成27年2月には健康づくり推進のまち宣言記念講演で「がんを遠ざける生活習慣」と題して講演が行われた。また、保健福祉課で実施している健康学習会の項目の中には「受けようがん検診 がんから守る生活」という学習テーマを設定し、がん教育を推進しようとしているが残念ながら受講利用は皆無である。

(2) 罹患者対策について

国のがん対策推進基本計画ではがん患者が尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築を目指し、医療・福祉サービスの提供、相談・就労支援を行う仕組みの構築、緩和ケアの推進を行っている。

ア、がん患者とその家族に対する支援について

がんに罹患し不安な気持ちなどは一般的な健康相談として保健師が隨時行っているが、がんに罹患したことが理由で仕事を辞めた等のがん患者の就労に関する相談は1度もなく、事業所等の実態調査も行っているが調査の返答率も低く把握できていない。また富良野圏域に支援や相談ができるNPOやがん患者サークルなどは存在していない。

イ、緩和ケアについて

国ではがんと診断された時からの緩和ケアの推進として、拠点病院等においての緩和ケアチーム、緩和ケア外来の整備を行い充実を図っているが、緩和ケアは医師をはじめ認定看護師など医療スタッフの専門性も高く、旭川医科大学病院をはじめとした大きな拠点病院でしか緩和ケアは受診できず、富良野圏域には緩和ケアを行う拠点病院はない。

(3) 課題と問題点

がん予防と罹患者対策については健康増進計画「健康かみふらの21」を策定し、がんの早期発見、重症化予防、発症予防に取り組んでいる。国が定める5つのがん検診について、無料クーポン券の配布やがん検診経年表を活用した保健指導などを実施し、様々な受診率向上の施策に取り組んできており、上富良野町の5つのがん検診受診率は北海道の受診率、国の受診率よりすべて高い結果となっているが、国が定める50%という目標受診率にはどれも至っていない。

また、多くが町のがん検診ではなく職域等での検診を受診していることから職域を含めた町民全体のがん検診受診実態を正確に把握することは困難な状況にある。

一方、上富良野町の喫煙率は年々減少傾向にあるが、いまだ男女共に全国喫煙率より高いのが現状であり、喫煙率の低下策に力を注がなければならない。

がん教育について、健康学習会でがんに関する学習テーマを設定しているが受講者が皆無であることは、住民周知等が不十分であったと思われる。また、がん教育講演も平成28年に行われて以降、5年以上開催されていない。

次に、罹患者対策については、国では新たな課題として患者それぞれの状況に応じたがん医療や支援が十分になされていることや、また希少がん、難治性がん、小児がん、AYA世代のがんへの対策を課題と捉えている。今後わが町においても、がん患者が尊厳を保持しつつ安心して暮らすことができる社会の構築を目指し、福祉的支援、教育的支援等を充実させていかなければならない。

現在は、がんに罹患した人の相談は保健師が一般の健康相談として行っているが、就労相談や治療に関する相談などの専門窓口はない。また富良野圏域には緩和ケアの拠点病院や施設もない状況である。

(4) まとめ

上富良野町の5つのがん検診受診率は、国、北海道の受診率より高い結果となっている点は高く評価するものである。今後は国が定める50%という目標受診率の達成に向けて、無料クーポン券の配布年齢の拡充や、受診機会の促進のための新たな施策、受診意識向上のための広報やアンケート等の手法も駆使し受診率向上に取り組まれたい。

さらに、今後は事業主の理解を得て多くの町民の検診受診状況の把握を行い、平成26年2月に宣言した「健康づくり推進の町」宣言の理念に基づき職域での受診率向上を促すとともに、行政との連携強化を図り、町民のがん予防・がん検診の充実を図られたい。

また、喫煙については様々ながんのリスク因子に加え循環器疾患や糖尿病といった生活習慣病、さらには健康寿命延伸にも悪影響があることを考慮し、さらなる禁煙運動等の取り組みを進められたい。

がん教育については学童期から学ぶ機会をつくるとともに、一般町民へのがん講演会の開催などにより町民一人一人のがん予防に対する意識向上を高め、がんを克服する社会の実現に努められたい。

また、これからはがん予防の充実を推進するだけでなく、がんに罹患しても安心して暮らせる社会の構築が求められる。がん患者とその家族に対する相談窓口や就労支援、患者サークルの結成など医療や福祉資源を活用し、町民視点に立ったがん患者の施策を進められたい。

がん予防と罹患者対策を進めるためには現在の保健指導、福祉対策体制の充実が必要である。がん治療は日進月歩で発展し、がん10年生存率も約60%と進展してきている。何よりもがんは早期発見、早期治療であり、そのためのがん検診は重要であることから受診率を着実に高めていくことが必要である。また、がん患者が尊厳を保持しながら安心して暮らせる社会を実現するため、関係機関の連携が求められる。町を中心に、医療や福祉関係者、事業主などが一体となってがんとの共生を推進し、健康のまちづくりの実現を目指されたい。以上、「がん予防と罹患者対策」についての報告とする。

【別紙2】

厚生文教常任委員会における審議の経過

No.	月　　日	内　　容
1	令和元年12月12日	・第4回定例会にて、調査事件名が「図書館運営について」と「がん予防と罹患者対策について」で議決される。
2	令和元年12月27日	・図書館ふれんど現状視察の検討とがん予防についての資料要求の検討。
3	令和2年　1月17日	・がん予防と罹患者対策について、保健福祉課より資料の説明を受ける。 ・図書館ふれんどの現状について現地施設を実施。教育委員会より概要の説明を受ける。
4	令和2年　2月　4日	・保健福祉課より町のがん検診の流れや現状、罹患者対策について資料により説明を受ける。
5	令和2年　2月26日	・閉会中の継続調査申し出（案）について協議。
6	令和2年　3月30日	・図書館運営の現状の課題について調査項目の検討。 ・がん予防と罹患者対策について具体的な調査案を検討。
1	令和2年　4月27日	・図書館運営の現状の課題について調査項目の検討。 ・がん予防と罹患者対策について具体的な調査案を検討。
2	令和2年　6月15日	・コロナ禍における、閉会中の継続調査における道外先進地視察実施有無の検討。
3	令和2年　7月28日	・コロナ禍における、閉会中の継続調査における道外先進地視察実施有無の検討。
4	令和2年　8月25日	・図書館の運営と学校図書との連携体制づくりについて検討。
5	令和2年　9月　7日	・がん予防と罹患者対策について、検診の結果を基に受診率向上に向けた検討を行った。
6	令和2年10月26日	・がん予防と罹患者対策について、検診の結果を基に受診率向上に向けた検討を行った。
7	令和2年11月　9日	・がん予防と罹患者対策について、生活習慣予防について特定検診の実施率や野菜摂取率の取り組み課題の検討。
8	令和2年12月　7日	・がん予防と罹患者対策について、検診の結果を基に受診率向上に向けた検討を行った。
9	令和3年　1月14日	・図書館運営の現状の課題について調査項目の検討。 ・がん予防と罹患者対策について具体的な調査案を検討。
10	令和3年　1月29日	・図書館運営の現状の課題について調査項目の検討。 ・がん予防と罹患者対策について具体的な調査案を検討。
11	令和3年　2月　8日	・図書館運営の現状の課題について報告書確認。 ・がん予防と罹患者対策について報告書確認。
1	令和3年　4月14日	・図書館運営の現状の課題について報告書確認。 ・がん予防と罹患者対策について報告書確認。
2	令和3年　5月12日	・図書館運営の現状の課題について報告書確認。 ・がん予防と罹患者対策について報告書確認。
3	令和3年　6月　2日	・図書館運営の現状の課題について報告書最終確認。 ・がん予防と罹患者対策について報告書最終確認。
4	令和3年　6月14日	・図書館運営の現状の課題とがん予防と罹患者対策について報告書を最終決定。